

## 暮らしを エコ ニュース

### 夏に向けて 緑のカーテンを育てよう

「緑のカーテン」は、アサガオやゴーヤなどのつる性植物で作る、自然のカーテンです。建物の外壁や窓・ベランダなどに設置すると、太陽の光や屋外からの熱を遮り、部屋の温度上昇を抑えます。また、植物から出る水蒸気により周囲の温度を下げる効果もあります。夏の暑い時期を、エアコンに頼り過ぎることなく涼しく過ごすことができるので、電気代の節約、さらには省エネにつながります。

春は、緑のカーテンの栽培を始めるのに最適な時期です。夏を快適に過ごすために、皆さんも挑戦してみませんか。

**用意するもの**＝種や苗、土、肥料、プランター、つるをはわせるネットなど

#### 作り方

プランターに種をまき、成長してきたら、ネットを準備します。つるが伸びてきたら、ネットに巻き付くよう調整します。種は収穫し、来年の春まで保管しておきましょう。

緑のカーテンを栽培するときには、次の点に注意しましょう。

○台風や強風のときは、ネットを固定するか、いったん外してプランターごと安全な場所へ移動する

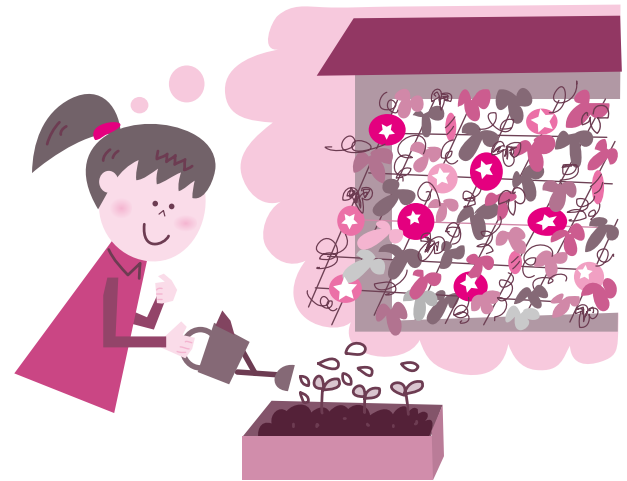
- 落ち葉が風で散らばるので、掃除はこまめにする
- 害虫駆除で農薬などを使うときは、周囲に飛散しないようビニールで覆うなど工夫する
- つるに添え木をする場合、近くで人が転んだときに危険なため、先端を丸みのあるものにする

#### 種を配布します

なりた環境ネットワーク事務局(市役所4階 環境計画課)では、「緑のカーテン」作りに使う種(フウセンカズラ、ヒョウタン)を、4月15日(水)から配布する予定です(なくなり次第終了)。

種の配布方法などについては、広報なりた4月15日号でお知らせします。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。



### 消費生活相談

## Q&A

### 還付金詐欺にご注意を

**Q** 市役所の職員を名乗る人から「払い過ぎた医療費の還付がある」と電話があり「金融機関では還付に対応できないので、コンビニエンスストアか病院の現金自動預払機(ATM)に行くように」と言われましたが、信用できるでしょうか。

**A** 市役所などの公的機関の職員が還付金受け取りのためにATMの操作を行うよう電話することはありません。詐欺と思われますので、信用してはいけません。

近年、公的機関の職員を装った電話による詐欺被害が増え

ています。医療費、保険料、税金などで払い過ぎたお金が返還されるのでATMに行くよう指示され、指示通りに操作すると気付かないうちにお金を振り込まれます。電話の際、個人情報聞き出される場合もあります。

最近では警戒が厳しい金融機関のATMではなく、コンビニエンスストアやスーパー、病院、市役所などのATMへ誘導するケースが見られます。また、「期限が今日まで」などとせかし、冷静に考えたり周囲に相談したりする余裕を与えません。

公的機関が還付金をATMで返還することは絶対にありません。一度お金を支払ってしまうと、取り戻すことは極めて困難です。被害に遭わないために、次の点に注意しましょう。

- 相手の言った電話番号をうのみにせず、電話帳などで番号を確認して関係機関に問い合わせる
- 「携帯電話」を持って「ATM」へと言われたら、詐欺を疑う

被害に遭ったり、疑わしく思ったりした場合は、すぐに最寄りの警察署や消費生活センターに相談してください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。